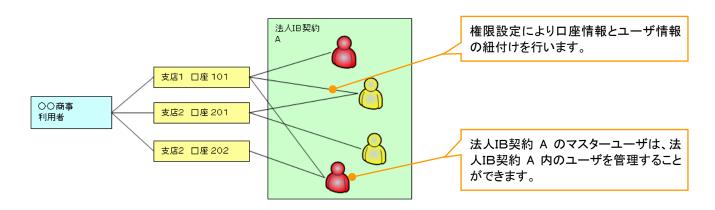
# ユーザについて

→ ユーザはマスターユーザと一般ユーザの 2 種類存在します。

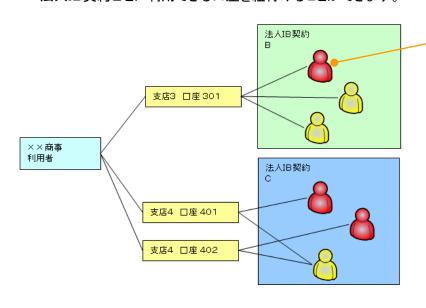
ユーザの種類	説明
マスターユーザ	自分自身を含めた全てのユーザを管理することができるユーザ。
一般ユーザ	マスターユーザによって管理され、業務権限が付与されたユーザ。

- ➤ 法人IB契約パターンと《電子記録債権取引システム》との紐付けについて
  - 【1 企業に対する法人IB契約が 1 契約の場合の例】



## 【1 企業に対する法人IB契約が複数契約の場合の例】

法人IB契約ごとに利用できる口座を紐付けることができます。※1



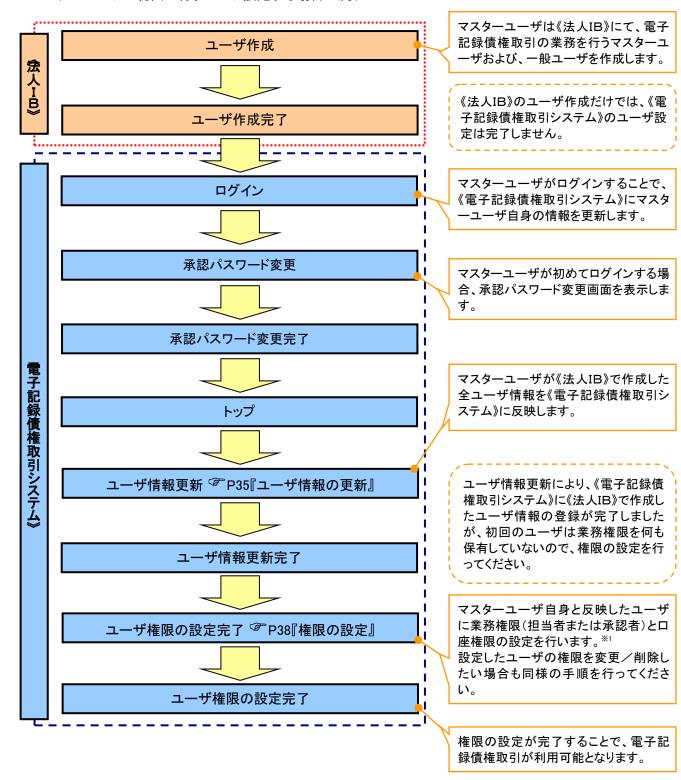
法人IB契約 B のマスターユーザは、法 人IB契約 B 内のユーザを管理すること ができますが、法人IB契約 C 内のユー ザを管理することはできません。

## ① ご注意事項

※1:1口座に複数の法人IB契約を設定することはできません。また、法人IB契約と口座の紐付けについては、申込書にもとづいて金融機関側にて行います。

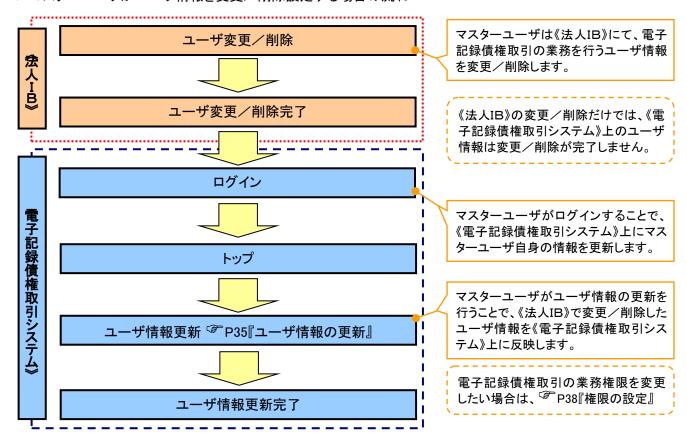
# ユーザ設定の流れ

>マスターユーザが初回に行うユーザ設定する場合の流れ



- ① ご注意事項
- ※1:マスターユーザは、作成するユーザに対して、自分自身が持っていない権限も付与することが できます。

#### ▶ マスターユーザがユーザ情報を変更/削除設定する場合の流れ



#### →マスター、一般ユーザの実施可能取引について

マスターユーザが管理対象ユーザ(自分自身・他のマスターユーザ・一般ユーザ)に対して、《電子記録債権取引システム》上で実施できる項目を示します。また、一般ユーザが実施できる項目を示します。

		実施可能取引					
	管理対象		ユーザ変更				承認
ユーザ種別	ユーザ	ユーザ 登録	ユーザ 権限	承認 パスワード 初期化	ユーザ 削除	ユーザ 照会	パスワード 変更 (自分自身)
マスターユーザ	自分自身	O*1	0	×	×	0	0
	他のマスター ユーザ	O <sup>**2</sup>	0	0	O <sup>*2</sup>	0	
	一般ユーザ	O <sup>*2</sup>	0	0	O <sup>**2</sup>	0	
一般ユーザ	自分自身	O <sup>*1</sup>	×	×	×	×	0

#### (i) ご注意事項

- ※1:ログインすることで、《電子記録債権取引システム》上に自分自身の情報を登録します。
- ※2:マスターユーザがユーザ情報の更新を行うことで、《電子記録債権取引システム》上のユーザ情報を 登録/削除します。

# →ユーザの初期状態

ユーザが初期状態で保有している利用可能な取引です。削除することはできません。

ユーザの種類	利用可能な取引
マスターユーザ	・ユーザの変更 ・ユーザの更新 ・ユーザの照会 ・承認パスワード初期化
全ユーザ (マスターユーザ、一般ユーザ)	・自分自身の承認パスワード変更 ・自分自身の操作履歴照会 ・取引先照会 ・通知情報照会 ・一括記録(結果一覧照会)※1

# → 承認不要業務

担当者と承認者の区別がなく、承認の必要の無い取引です。

業務	利用可能な取引
利用者情報照会	利用者情報照会
取引先管理	取引先管理(登録/変更/削除)
取引履歴照会	取引履歴照会
操作履歴照会※2	操作履歴照会
債権照会(開示)	開示(およびダウンロード)
融資申込	融資申込照会※4※5

## → 承認対象業務

対象業務の担当者権限を保有した場合、その取引の仮登録を行うことができます。

対象業務の承認者権限を保有した場合、その取引の仮登録を承認することができます。

業務	利用可能な取引
	·債権発生請求(債務者請求)
	・債権発生請求(債権者請求)
	•債権譲渡請求
	•分割記録請求
記録請求	•債権一括請求
	•変更記録請求
	•保証記録請求
	·支払等記録請求
	•取引先管理(登録/変更/削除)※3※5
融資申込	·割引申込
ベリテン	·譲渡担保申込
指定許可管理	·指定許可管理(登録/変更/解除)

## ◆担当者権限/承認者権限

担当者/承認者	説明
担当者権限	電子記録債権の取引を仮登録または差戻しされた取引を修正/削除する権限
承認者権限	担当者が行った仮登録を、承認/差戻しする権限

# ① ご注意事項

※1:口座権限が必要となります。

※2:自分自身の操作履歴照会の場合、権限は不要です。

※3:記録請求権限が付与された場合、取引先管理も利用可能になります。

※4:割引業務、譲渡担保業務のどちらかを保有していれば、利用可能になります。

※5:担当者権限/承認者権限に関係なく、利用可能です。

# ユーザ設定の手順

### ❖概要

- ✓ 電子記録債権取引の操作を行うユーザ情報を管理します。
- ✓ユーザ情報の管理は、マスターユーザが行います。
- ✓ マスターユーザは、定期的にユーザ情報の更新を行ってください。例えばメールアドレスが古い場合、メールが届かないことがあります。
- ❖ 事前準備
  - ✓ご自身の「承認パスワード」が必要です。

# ユーザ情報の更新

- ▶ ログイン後、トップ画面の<mark>管理業務</mark>タブをクリックしてください。
  - 1. 管理業務メニュー画面





<u>ユーザ情報管理</u>ボタンをクリックしてく ださい。



2. 企業ユーザ管理メニュー画面



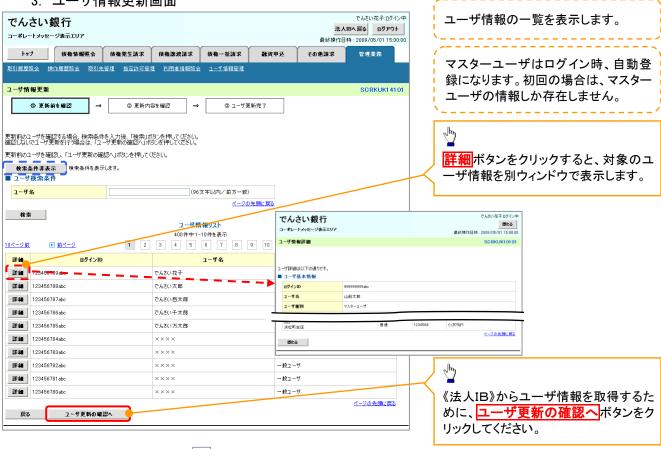
定期的に《法人IB》のユーザ情報の反映を行ってください。



更新ボタンをクリックしてください。



#### 3. ユーザ情報更新画面





### 【金融機関様へのご注意】

※1:最小桁数は金融機関利用申込オプションの「承認パスワード最小桁数」において金融機関様が指定した最小桁数となります。 この場合は、6桁を指定した例を示しています。



#### 5. ユーザ情報更新完了画面





✓ ユーザ情報の更新が完了となります。<sup>※1</sup>

続けて、更新したユーザに対して権限の設定を行うので、サブメニュ ーエリアの<mark>ユーザ情報管理</mark>をクリックしてください。

権限の設定手順は、 P38 権限の設定 』

# ① ご注意事項

※1:《法人 IB》契約を跨ったユーザ管理は行えません。複数の《法人 IB》契約をもっている場合は、それ ぞれのマスターユーザでユーザ情報の更新を行う必要があります。

## 権限の設定

#### 1. 企業ユーザ管理メニュー画面



7

変更ボタンをクリックしてください。



## 2. ユーザ情報検索画面



権限の変更を行うユーザを選択しま す。

【ユーザを絞り込みたい場合】

①ログイン ID(任意)

(半角30文字以内/前方一致)

②ユーザ名(任意)

(96 文字以内/前方一致)\*1

のどちらかまたは両方を入力してください。

※1:半角は96文字以内、全角の入力 も可能で全角1文字は半角の2文字分 となります。



<mark>検索</mark>ボタンをクリックすると、検索結果 を一覧表示します。



詳細ボタンをクリックすると、対象のユーザ情報を別ウィンドウで表示します。



権限を設定する対象ユーザの<mark>変更</mark>ボ タンをクリックしてください。





# 3. ユーザ情報変更画面



ユーザに業務権限、口座権限設定します。



承認パスワードを初期化する場合、 <mark>チェックボックス</mark>にチェックを入れてく ださい。



承認不要業務の権限を設定します。 設定する業務の<mark>チェックボックス</mark>にチェックを入れてください。



承認対象業務の権限を設定します。 設定する業務の担当者または承認者 の<u>チェックボックス</u>にチェックを入れて ください。

※担当者と承認者の双方に権限を設定することも可能です。



口座権限を設定します。 設定する口座の<mark>チェックボックス</mark>にチェックを入れてください。



**変更内容の確認へ**ボタンをクリックしてください。



## 4. 初期承認パスワード設定画面



初期承認パスワードを設定します。

- 4. 初期承認パスワード設定画面は、 以下の3つの場合に表示します。
- (1)業務権限に、初めて承認者権限を 設定した場合
- (2)承認パスワードを初期化する場合
- (3)初めてマスターユーザの権限設定をした場合
- その他の場合は、5. ユーザ情報変更確認画面を表示します。
- ①初期承認パスワード《6 桁\*1~12 桁》
- ②初期承認パスワード(再入力)
- 《6 桁\*1~12 桁》を入力してください。

変更内容の確認へボタンをクリックし

てください。



#### 5. ユーザ情報変更確認画面



設定したユーザ情報を確認します。

①確認用承認パスワード 《6 析\*1~12 析》を入力してください。



4

変更の実行 ボタンをクリックしてくださ い。

#### 【金融機関様へのご注意】

※1:最小桁数は金融機関利用申込オプションの「承認パスワード最小桁数」において金融機関様が指定した最小桁数となります。 この場合は、6桁を指定した例を示しています。



## 6. ユーザ情報変更完了画面





# ✓ ユーザの権限設定が完了しました。

続けて、2 件目も登録する場合は、サブメニューエリアの **ューザ情報管理**をクリックしてください。

手順は、『P38 の 1. 企業ユーザ管理メニュー画面に遷移するので、同様の手順で登録を行ってください。